



鎌倉

古民家スタジオ・イシワタリ

イシワタリ

米寿

二〇一五



kamakura cō
ishiwatari 

古民家スタジオ・イシワタリ

神奈川県鎌倉市長谷1-1-6
080-5058-8515 (福井)・080-6597-8515 (石渡)
<http://hoian.sakura.ne.jp/>

鎌倉駅から長谷観音へ向かう道にある木造家屋。ここはかつて材木商を営む家族が暮らしていました。

戦争、敗戦からの復興、高度経済成長……。昭和というひとつの時代を見続けたこの家は、時代が変わった今もその姿を変えることなくこの町に佇んでいます。

“古き良きものは使い続けたい”という思いから、残された家族が始めた「古民家スタジオ・イシワタリ」。

2015年に米寿を迎えるこの家は、これからずっとこの町を見続けていきます。







古民家の歴史 田島屋材木店から イシワタリへ



イシワタリ管理人の祖父・石渡吉隆(享年85歳)。神奈川県逗子市出身。鎌倉の材木店で修業をした後、田島屋材木店を設立。2男2女の父になるものの、長男は幼い頃に病死、次男はビルマで戦死する。困っている人を助けずにはいられない性格で、戦後、家を失った親戚や知り合いの面倒をみる。晩年は孫に優しいおじいちゃんだった。

古民家スタジオ・イシワタリの前身は、田島屋材木店。管理人の祖父・石渡吉隆が、関東大震災の後、昭和2年に住居兼事務所として、この家を建てました。当時、別荘が多かった鎌倉では、日本家屋に洋式の建築を取り入れる家が多く、この家の玄関の扉や窓枠にもその趣があります。

戦前の田島屋は、番頭や小僧など働き手が多く、大きく商売をしていましたが、戦争が始まり、統制会社令により個人で商売ができなくなると、吉隆は神奈川県材木統制会社があった横浜へ通うようになります。

戦時中の鎌倉は、東京や横浜のような空襲はありませんでしたが、いつ来るか分からない敵の攻撃に備え、家族の手で防空壕を作りました。

一方、その頃、鎌倉の広い家では、横須賀の海軍工廠に勤める若い人の下宿先として面倒をあてがわれ、この家にも何人か暮らしていました。

昭和19年、この家を継ぐはずだった

次男の利雄がビルマで戦死。やがて、日本は終戦を向かえます。

戦後、吉隆は再び、横浜で材木店を開業。しかし、その後を継ぐ者はおらず、晩年に閉業。その後、平成23年まで長女の弥重子(享年91歳)がこの家に暮らしました。そして、その後を次女・和子の家族が受け継ぎ、祖父・吉隆との思い出の詰まったこの家をなんとか残したいという思いから、孫の隆也が、古き良きものは使って残すをコンセプトにイシワタリを始めます。

それから3年、手探り状態で始めた新たな道は、今確かな手応えを感じながら拓かれ、多くの人に愛される場所になっていきます。
(石渡真由美)



戦時中、東京や横浜のような空襲はなかったものの、鎌倉の各家では灯火管制を行った。イシワタリの2階には当時の姿がそのまま残されている。また、戦況が悪化していく中、家にある金物を供出しなければならず、建設時、玄関の上に設置されていた白いアイアンでできたバルコニーを取り外すことになった。



この家のちょうど真ん中のある仏間では、祖父・吉隆をはじめ、石渡家の家族が見守っている。



昭和初期に建てられた日本家屋は、家の一部に洋風のものを取り入れるのが流行ったという。玄関に引き戸ではなくドアを用いたり、その左にある部屋(現・アトリエ兼ん)の窓口にステンドグラスを取り入れたりするなど、古民家の所々でその姿を見ることができる。



長女・弥重子の後、この家を受け継いだ次女の家族。現在は吉隆の孫にあたる隆也(本職・写真家)が妻の真由美と一緒に、古民家スタジオ・イシワタリの管理・運営を行っている。



写真家である私が、叔母から引き継いだ、この古民家。その風合いを活かした仕上がりにしたく、自然光をメインに撮影しています。

夏の光はちょっと力強すぎてガチガチの写真になってしまいます。でも、秋になると、太陽の光はちょっと優しくなり、秋も深まるとさらに柔らかさが増してきます。柔らかさは冬から春へ続き、また夏がやって来ます。

そんな季節の光を、手こずりながらも手なずけ、最良の仕上がりとなるように努力しています。

でも、雨が降ったりすると「ごめんなさい。今日は撮れません！」なんてこともなってしまうことも。

天気や季節に振り回されながらも写真室を続けて3年。妊婦さんを撮ったら、次は生まれた赤ちゃんを、そして七五三になったらまた来てくれる。

家族の歴史を残すならここで、という存在を目指してゆきたいと思っています。
(福井隆也)



福井隆也 写真家・イシワタリ管理人
1963年鎌倉生まれ。1993年よりベトナムを撮り続けている。一方、近年変化の激しい鎌倉を撮ることもライフワークとなりつつある。主な著書「ベトナム・センチメンタル」「ベトナムめしの旅」(情報センター出版局刊)ほか。



© fukui takaya



© fukui takaya



© fukui takaya



© fukui takaya



古民家をまるごと一軒使う

イシワタリでは、イベントやウエディングなどのご利用のほかに、映画やCMなどのムービー撮影や、ファッション雑誌などのスチール撮影のロケ地としてもご利用いただいています。ハウススタジオのご利用は、3時間～お受けしています。

また、平日に企業の会議などでもご利用するのもおすすめです。オフィスの会議室から飛び出し、家でくつろぐようなリラックスした空間で、新しいアイデアを生み出してみませんか。



2つの家族が出会い、1つの家族となる婚礼は、ホテルのような特別な場所ではなく、家族で過ごす家のようなぬくもりのある場所でありたい・・・。

そんな2人の思いに込めるのが、イシワタリの古民家ウエディング。古民家をまるごと一軒使って、好きな料理、好きな音楽、好きな空間を創り、2人らしい出発をしてみませんか？ 家族や親戚だけで過ごすのもよし、友達とわいわい楽しむのもよし。

プロのウエディングプランナーのような洒落た提案はできませんが、新郎新婦さんと一緒になってアイデアを出し合い、思い出になる一日のお手伝いをします。

私たちの唯一の強みは、イシワタリの管理人であり写真家の福井隆也によるスナップ写真をご提供できること（プラン料金に含む）。準備からゲストをお見送りするまで、その日の一日を写真に収めます。オプションで婚礼写真、集合写真も承っています。

古民家で集う・楽しむ。

例えば1階の和室で展示会をしたり、キッチンを使ってお食事処にしたり…。3つのコースの中から好きなコースを選び、組み合わせ、オリジナルのイベントや展示会を開催してみませんか。

家具、木彫、陶芸、絵画、写真など…。イシワタリ全館を使った大規模な展示会から、1階または2階の和室を使った小規模な展示会まで、さまざま展示に対応。オプションでキッチンを加えると展示と喫茶の組み合わせもできます。写真＝「アイヌ刺繍ひとときり展」



例えば畳の上でヨガをしたり、オリジナルのアロマを作ったり、古いマッサージをしたり…。イシワタリは“癒し”をテーマにしたイベントにもよく使われています。古民家のぬくもりや心地よさを感じながら、心と身体をリフレッシュしませんか。写真＝「縁側ツアー×デジタルデトックス」



イシワタリを始めて以来、毎年ゴールデンウィークに開催しているベトナムイベント。ベトナムに3年間暮らしていたイシワタリ管理人が自ら主催するこだわりのイベントです。おいしいベトナム料理とこだわりの雑貨が並びます。写真＝「ベトナムのかわいい蚤の市」



イシワタリを始めた年から、2カ月に一度開催されている人気イベント「古民家で楽しむ日本ワインと日本のチーズの会」(湘南ファーム主催)。生産エリア、季節など、毎回テーマに合わせたチーズが約20種類、ワインが約8種類並び、ビュッフェ形式でお楽しみいただけます。



イシワタリではこれまで、ギター、ハーブ、一弦琴、チェンバロなどさまざまな楽器のコンサートを開催。ライブハウスのような音響設備はありませんが、畳の上でくつろぎながら音楽を楽しむことができます。写真＝「北インド古典音楽コンサート ラーガをうたう」

◀古民家のキッチンを使って、期間限定のカフェやお食事処を開いてみませんか？ 冷蔵庫、電子レンジ、鍋・フライパンをはじめ、お皿とグラスは約20人分をご用意しています。写真＝「白ねこ亭の梅ごはん」

▼イシワタリの駐車場4台分のスペースを使って、屋外でイベントを開催することもできます。写真＝「白ねこ亭の青空カフェ&マルシェ」



例えば家具展の開催中に、作家さんによる椅子づくりのワークショップをしたり、小さなお店が集まるマルシェスタイルのイベントの中でアクセサリや小物を作ってみたり…。大人も子どもも楽しめるさまざまなワークショップを開催しています。写真＝「すまうための道具展 天使の椅子のワークショップ」



和食、ベトナム料理、マレーシア料理、ポルトガル料理など、さまざま料理イベントを開催しています。利用時間10:00～21:00の中で、昼・夜の二部に分けて予約制のレストランを開くのもよし、観光で来た人がふらりと立ち寄れるカフェにしてもよし。写真＝「ベトナム食堂ナンポーのベトナムごはん」

イシワタリの四季

古民家の過ごしやすさを感じる春と秋、暖房の効かぬ寒さに逃げ出したくなる冬、じっとやり過ごす夏の暑さ。そして、それぞれの季節を彩る花々…。季節の移ろいを、イシワタリで感じて。



お月見

彼岸花



柿



© fukui takaya



雪



もみじ



ボケ

梅の収穫



© fukui takaya



風鈴



© fukui takaya

台風が近づいたので雨戸を閉める



サクラ



ツツジ



駐車場との塀は味気ないトタンから
味わいのある木製に変えた。



老朽化した
ガス管を交換する。



滑りの悪くなった障子を表具屋さんに直してもらおう。



老朽化した外壁を張り替えるのは、
足場を組む大がかりな修理になる。



イシワタリを使ってくださった皆さまと忘年会。

(福井隆也)

昔ながらの景観が失われつつある鎌倉で、イシワタリはこの後、100歳を目指していくわけだが、その時、この町の景観はどうなってるのだろうか。イシワタリだけが孤高の存在として残っているなんてないことを願いたい。

この家を相続する時、銀行側から、土地を売ったりマンションを建てたりしては？ という誘いがあつたが、それは即座に断つた。そして、「使つて残す」ということを、イシワタリは実践することになる。

さすが材木商の祖父が作っただけに使われている木材は質の良いものばかりで、柱も梁もしっかりしている。しかし、外壁、畳、水回り、ガス管など直すべき箇所は多かつた。

イシワタリで稼げば修理につき込み、でもこちらを直せば、あちらが壊れ・・・の繰り返しだった。

しかし、そんな状況も落ち着いてくると直すだけでなく、古民家をより美しく見せるために手を入れたくなる。手始めにトタンだった塀を味わいのある木に変えてみた。いずれは味気ない駐車場もなんとかしたいと思つている。



「2階和室コース」では、2階の和室2部屋とそれをL字に囲む縁側をご利用できます。明るい自然光が入るので、ワークショップや講演会などにおすすめです。



コース内容

- ① 1階和室コース
- ② 1階カフェコース
- ③ 2階和室コース
- ④ イシワタリ全館コース

①～③の基本コースに台所、1階洋間、キッチン、裏庭をオプションで加えることができます。



古民家の玄関左には、常設のオーダーメイドの店「アトリエ糸ん」があります。好きな布であなただけの一着を作ってみませんか？
【営業時間】11:00～17:00 火・水休み



「1階和室コース」は、1階の和室3部屋（6畳+8畳+6畳+縁側）をご利用できます。展示会やコンサート、キッチンと合わせてお食事処などに。

キッチンを使うイベントの時に食事や並べたり、オーダーや会計の窓口に使うことができます。



告知のお手伝いをします！

イシワタリでは、ここで開催するイベントにたくさんの人に来て欲しいという思いから、告知のお手伝いもしています。イシワタリ管理人で写真家の福井隆也がイベントに関するモノや料理を撮り下ろし、A3サイズのポスターを作ります（無料）。ポスターは表の扉に約1カ月前から掲示します。



普段は「福井写真室」として使っていますが、「1階カフェコース」（キッチン+洋間2室）をご利用の際には、客席に変身。



台所の裏にあたる裏庭には水場があり、藍染めなどのワークショップを開催することができます。

イシワタリ ご近所MAP



編集後記

イシワタリを始めて、3年が経ちました。おかげさまで、少しずつその存在が知られ、近ごろは毎週末、何かしらのイベントが開催され、賑わっています。イシワタリを運営していく中でつくづく思うのは、日本家屋には無限の可能性を秘められている、ということ。例えば、障子や襖を外すだけで、その空間はがらりと変わり、また使う人のアイデアによって、「こんなこともできるんだ!」と驚かされることがいっぱいです。これからもそんなワクワクに出会いたくて、この家を残していきたいと思っています。

古民家スタジオ・イシワタリ 管理人 福井隆也・石渡真由美

